

科目名	現代の倫理 Contemporary Ethics		担当教員 (研究室番号)	安部 彰 (508)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	akira.abe@mcn.ac.jp					
履修年次	1年次 後期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	選択	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	倫理学の学ぶことで、自己と他者との関係についての理解と考察を深めてもらう。倫理にかんする基本概念と理論について解説し、現代における生命・医療倫理の諸問題について解説・考察する。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度)										
	関連する DP	B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解) C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につけている。(興味・関心・意欲)										
到達 目標	1. 倫理にかんする基本事項について理解し、説明することができる。 2. 規範倫理学について理解し、説明することができる。 3. 生命・医療倫理の諸問題について説明・考察することができる。 4. 自らの倫理観を見直し、よりよい倫理的思考にもとついて行動することができる。											
成績評価方法 (基準)	平常点(コメントペーパー)(30%) 期末試験(70%)											
再試験の有無と 基準等	再試験はレポート試験とする。ただし再試験では、評価に平常点は含まず、試験結果により合否のみを判定する。											
教科書	授業プリントを使用する。											
参考書等	授業時に適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と 学生への期待	倫理学を学ぶと、他者だけではなく自己理解が深まり、また倫理的想像力・感受性が養われ、現代社会がかかえる諸問題への関心が拡張・強化されるだろう。ただし、そのためには倫理問題を他人事ではなく「私の」問題と受けとめ、意欲的に授業に取り組んでもらう必要がある。また毎回提出してもらったコメントペーパーは、教員と学生がコミュニケーションをとるための貴重なツールなので、積極的に活用してほしい。											
備考	本科目と3年次の必修科目である「看護倫理」の内容は密接に結びついており、それゆえこの科目を修めておくと「看護倫理」の理解もきっと深まるので、ぜひ履修してほしい。											
回	学習項目					学習内容					主担当 教員	授業 方法
1回	イントロダクション					授業の目的などシラバスの記載内容について詳しく説明する。					安部	講義
2回	倫理学への導入①					西洋倫理学の起源に立ち返りつつ、倫理学の目的を解説する。					安部	講義
3回	倫理学への導入②					倫理や道徳という概念について解説する。					安部	講義
4回	倫理学への導入③					価値判断における倫理的判断の特徴について解説する。					安部	講義
5回	倫理学への導入④					倫理学を学ぶ現代的な意義について解説する。					安部	講義
6回	倫理学への導入⑤					倫理学の分類(記述倫理学・規範倫理学・メタ倫理学・応用倫理学)について解説する。					安部	講義
7回	規範倫理学①					功利主義(倫理と幸福を結びつける理論)について解説する。					安部	講義
8回	規範倫理学②					前回に引き続き、功利主義について解説する。					安部	講義
9回	規範倫理学③					義務論(義務の遵守を重視する理論)について解説する。					安部	講義
10回	規範倫理学④					前回に引き続き、義務論について解説する。					安部	講義
11回	規範倫理学⑤					徳倫理(すぐれた性格を重視する理論)について解説する。					安部	講義
12回	生命・医療倫理①					生殖医療の倫理問題について解説する。					安部	講義
13回	生命・医療倫理②					生殖医療の倫理問題について考察する。					安部	講義
14回	生命・医療倫理③					終末期医療の倫理問題について解説・考察する。					安部	講義
15回	まとめ					授業の要点のふりかえり。試験の説明。					安部	講義

学 習 課 題	
・ 1~15回目課題(事後) : コメントペーパーの提出・評価(平常点30点)	
・ 6・11・14回目課題(事後) : 各テーマの授業内容について復習しておくこと。提出不要。	

実務経験を活かした教育の取組	